



# 光和

光和小  
携帯サイト

2月号  
練馬区立光和小学校  
令和4年1月31日



## 率先垂範

校長 矢島 直行

「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」といいますが、早いもので年が明けてから1か月が過ぎました。子供たちの登校日数は残すところ、修了式、卒業式まで35日余りです。一日一日充実した学校生活を送ることができるようにしたいです。

さて、寒い季節になると、ポケットに手を入れながら歩く子供たちの登校する姿が見られます。子供たちは頭の中ではよいことではないと分かっていますが、寒くなると自然に体がそうさせてしまいます。それは習慣、くせになっているからかもしれません。

では、なぜポケットに手を入れながら歩いてはいけないのでしょうか。転んでしまったときのことを考えてみましょう。手をポケットから出す前に、顔を打ってしまうかもしれません。大きなけがにつながります。また、歩いているときの姿勢はどうでしょうか。ポケットに手を入れることにより前屈みになってしまうなど、姿勢がよいとは言えません。頭ではいけないことと分かっているにもかかわらず、そのような習慣やくせは、直していかなければいけません。

また、挨拶はどうでしょうか。朝、登校班の集合場所で会った友達や指導係の方に、「おはようございます」と進んで挨拶をしているでしょうか。もし、6年生がしていなかったら、最高学年のお兄さん、お姉さんがしていないからと下級生はまねをしてしまいます。このことは私たち大人も同じ事が言えます。子供に注意をしながら、ついやってしまうことではないでしょうか。横断歩道のない所を急いでいるからとつい横断してしまう。急いでいるからつい廊下を走ってしまう。このようなことは、私たち教員も気を付けていかなければならないことです。大人が子供たちのよき手本になっていかなければなりません。子供たちに言葉で注意する前に、子供たちの模範として行動していくことが大切です。

12月に保護者の皆様に学校評価（アンケート）を実施しましたが、その中で、「コロナ禍、いろいろな活動ができないことを探して嘆くのではなく、できる活動を皆でしっかりと取り組み、活動ができたことに感謝と喜びを感じる心や姿勢を培う教育。大人になっても、置かれた場所で頑張れるのではないかと思います。」と意見をいただきました。今、さまざまな教育活動がこれまで通りにできない中ではありますが、できることを一生懸命に取り組みすることを大切にする保護者の方の姿勢が子供たちにしっかりと伝わり、日々の教育活動を充実したものにつなげていきます。

寒い日が続いていますが、校庭の梅の蕾もふくらみ、春に花を咲かそうと準備をしています。学校も子供たちは新年度への準備に取り組んでいきます。学習、生活の学年のまとめをしっかり行い、4月の進学、進級に向けての準備に取り組んでまいります。